

第15回写真コンテスト結果発表!

みなさまのご応募ありがとうございました!



厳正なる審査の結果、大賞や入賞作品が選ばれました! 受賞された皆様、おめでとうございます! 入賞作品につきましては、ホームページに掲載させていただきます。

また、RDAJapanのホームページ並びにFacebookの表紙等を飾らせていただきます。

<RDA Japan 賞>



「準備中の夢」 福田理穂氏

～選評～

あまりに微笑ましくて笑いました。馬装前の出来事だそうです。急かされて「指を食べられました」と言いながらシャッター押している福田さんと、「福田さんの指を食べる」夢ちゃん表情が最高。こういう人と馬の優しい穏やかな関係が、皆様の活動の大きな支えになっているのだと感じました。

<審査員特別賞>



「笑顔!」 成井みさ氏

～選評～

「馬上」ならぬN先生の肩の上で最高の笑顔ですね。N先生の帽子をつかむ手が、どこか手綱を持っているように見えます。

ご本人は馬の上にいる気分なのかも。



<入選>

「並んで前進！」 神山紗輝氏氏



～選評～ 空と雲と差し込む太陽の光に包まれた馬の隊列、素敵な一枚ですね。空や光に感動して撮影されたとのこと、主役の人馬の隊列がより引き立っています。

「待ちに待った楽しい放牧」 内藤皐氏



～選評～ 馬場に飛び出していくこの馬の気持ち、すごく伝わります。躍動感もすごい。27歳とのことですが、全然そのような年に見えないですね。いつまでも元気で働いてほしいです。

「全頭整列！」 先崎直由美氏



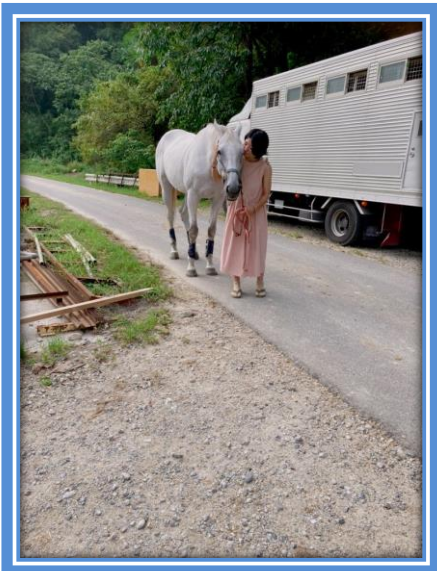
～選評～ 青空のもと、馬たちが整列した写真です。広い空と緑の草地に、すべての人馬がきちんと画面におさまっています。さすががしい1枚。

「いけー！ゆめちゃん！！」 椎名真子氏



～選評～ 速歩できるなんてすごいですね。騎乗者もサポートの皆さんも楽しそうで、風を感じます。このように動きのある写真は難しくてなかなか馬の全身が画面の中におさまらないですよ。でも是非またトライしてください。

「お別れの時のありがとう」 住岡桃子氏



～選評～ 馬の幸福や健康に繋がる仕事をするために、ご実家の乗馬クラブを離れる決断したという住岡さん。いつかまた愛馬のところに戻る日がくることでしょう。お母様が撮影した写真だそうですが、新たな目標に向かう住岡さんへの応援の気持ちを含めて一票。

「パラリンピックの輝き」 河野正寿氏



～選評～ 一般社団法人日本障がい者乗馬協会の河野さんが東京パラリンピックの会場を撮影された一枚。私もテレビを通じてこの場で繰り広げられた人馬の演技に魅了された一人です。多くの人たちの地道な活動が、この輝かしい舞台につながっているのだと思います。

総評<高草カメラマンより 一ひとロアドバイス>

今回は、空や風景を感じながら撮影したものや、馬の気持ちになって撮影したものなど、いろいろな視点でとらえた写真が多く、皆様の活動に対するいろいろな思いや情景に思いを馳せながら審査をさせていただきました。その中でも福田さんの「準備中の夢」は、本当はちょっと危ない一瞬なのに、馬と撮影者ご本人の気持ちの交歓が伝わる一枚。そして成井さんの「笑顔！」は、肩ぐるまのお子さんの笑顔がすべてを物語っています。どちらも、キャプションや説明がいない説得力がある写真だと思いました。

まだ思うように活動ができない状況かもしれませんが、これからも皆様個々の視点を通じて、いろいろなシーンを写真に収めていただきたいと思います。

高草操カメラマン略歴

「人と共に生きる 日本の馬」で2020年度JRA賞馬事文化賞を受賞
フリーカメラマンとして馬・馬に関わる人・風土をテーマに日本全国・海外でご活躍です。
現在「日本列島、知恵プロジェクト」というサイトで、日本の在来馬や日本の馬世界を取材した記事と写真を連載中です。